


分野	42	道路・交通	<b>通番 94</b>
施策	422	道路空間の整備	
<b>5年後の目標</b>		道路空間の安全性と快適性の向上のため、歩車道の維持・整備が適切に行われ、バリアフリー化が進んでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	府施行街路整備事業		会計	款	項	目	75,700,000	まちづくり政策室
			一般	8	4	2		
事業の概要								
御陵山崎線第3工区については、実施主体の京都府と連携した支援を行い、早期整備に向けた事業の進捗を図ります。また、第4工区としての御陵山崎線の北伸や長法寺向日線整備事業について京都府と協議を行い、整備促進を図ります。								


令和2年度の取組							
D (取組)	指標	府施行街路御陵山崎線第3工区・長法寺向日線用地買収率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	御陵山崎線 第3工区 0% 長法寺向日線 46.0% (平成27年度)	目標	御陵山崎線第3工区 25.0% 長法寺向日線 100%	御陵山崎線第3工区 50.0%	御陵山崎線第3工区 75.0%	御陵山崎線第3工区 100%	—
		実績	御陵山崎線第3工区 21.0% 長法寺向日線 100%	御陵山崎線第3工区 62.0%	御陵山崎線第3工区 80.7%	御陵山崎線第3工区 100.0%	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・府施行街路事業負担金を支出しました。</li> <li>・用地買収契約締結済みであるが移転先が決まらず引渡しに至っていない地権者につき、その移転先の協議を支援し次年度の引渡しが決まりました。この結果、全ての事業用地確保のめどが立ちました。</li> </ul>					御陵山崎線第3工区・神足奥海印寺線		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応頁	
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度に用地買収契約率が100%となりました。</li> <li>・用地買収契約締結済みであるが移転先が決まらず引渡しに至っていない地権者につき、その移転先の協議を支援し、全ての事業用地確保のめどが立ちました。</li> </ul>	—
	課題等	—			—

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動) 1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に関連した用地の整理が必要となっているため、買受申出者等との協議を進めません。</li> <li>・現在実施中の第3工区整備完了後の次期整備区間の箇所選定及びルートについて、協議を行います。</li> </ul>

分野	42	道路・交通	<b>通番 95</b>
施策	422	道路空間の整備	
<b>5年後の目標</b>		道路空間の安全性と快適性の向上のため、歩車道の維持・整備が適切に行われ、バリアフリー化が進んでいる。	

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>道路リフレッシュ</b>		会計	款	項	目	63,897,483	道路・河川課
			一般	8	2	2		
事業の概要								
歩行者の誰もが安全で安心な道路空間を形成するため、舗装の復旧と併せて老朽化の激しい側溝の改良による歩きやすい歩道の確保など、バリアフリー化を実施します。								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	優先的に整備すべき道路延長(2,270m)の整備率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	《参考》 昭和63年度以前施工分整備延長 14,548m 昭和63年度以降施工分整備延長 107,654m	目標	19.0	30.0	55.0	75.0	100
		実績	26.7	66.7	126.2	149.3	172.7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 舗装復旧・側溝改良事業により昭和63年以前の施工分として野添1丁目地区で延長190m、開田2丁目地区で延長130m、神足3丁目地区で延長40m、昭和63年以降の施工分として高台西地区で延長170mの計530mを整備しました。</li> </ul>					高台西地区の道路		
							


施策の「5年後の目標」に対する評価				
令和2年度の達成状況				
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド	対応員
			—	—
C (評価)	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和2年度末、目標指数を大きく上回る172.7%、整備延長は3920mとなりました。</li> <li>・ 社会資本整備総合交付金などの財源を活用しました。</li> <li>・ 開きよである側溝を蓋掛け側溝に改良することにより、道路幅員も広くなり、歩行スペースの確保ができました。</li> <li>・ 舗装路面の凹凸をなくすことにより歩きやすい道路となりました。</li> </ul>	
	課題等	・ 新たな財源の確保が課題となります。		

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き舗装復旧、側溝改良に伴う道路整備を進めていきます。</li> </ul>
1: 計画通りに進めることが適当	

分野	42	道路・交通	<b>通番 96</b>
施策	422	道路空間の整備	
<b>5年後の目標</b>		道路空間の安全性と快適性の向上のため、歩車道の維持・整備が適切に行われ、バリアフリー化が進んでいる。	

通

概要								
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目			決算額(円)	担当課	
	<b>交通安全施設整備事業</b>		会計	款	項	目	21,194,420	道路・河川課
			一般	8	2	3		
事業の概要								
市内小学校区の通学路の安全対策や歩行者の安全性、快適性を確保するために歩道整備や交通安全対策等整備計画を策定して計画的に実施します。								

令和2年度の取組							
D (取組)	指標	通学路プログラム計画(1,300m)に基づく歩道等整備率				単位	%
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	通学路プログラム計画 策定(平成26年度)	目標	33.0	55.0	70.0	85.0	100
		実績	30.2	31.8	41.0	49.7	62.2
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡第五小学校区域の市道第0206号線において、113mの歩道を整備しました。</li> <li>・長岡第六小学校区域の市道第3216号線において、50mの歩道を整備しました。</li> </ul>					歩道拡幅 長岡第五小学校		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
令和2年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標	評価指標の傾向・トレンド		対応員
			—	—	
達成度合	C: 目標の一部を達成できなかった	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学路交通安全プログラム計画に基づき、2地域における工事を実施しました。</li> </ul>		
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長岡第四小学校区域の市道第0202号線については、歩道幅員の拡幅や自転車通行帯を設置するため用地の確保が課題となります。</li> </ul>				

次年度以降の対応	
方向性	対応策等
A (行動)	<ul style="list-style-type: none"> <li>1: 計画通りに進めることが適当</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度に策定した長岡京市子どもの移動経路/通学路等の交通安全プログラムに基づき、計画的に整備を実施していきます。</li> <li>・用地の確保は、社会資本整備総合交付金を確保し、土地所有者との協議を進め、事業の進捗を図ります。</li> </ul>